

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年5月31日
【四半期会計期間】	第20期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	リスクモンスター株式会社
【英訳名】	Riskmonster.com
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤本 太一
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目16番5号 R M Gビル
【電話番号】	03 - 6214 - 0331
【事務連絡者氏名】	財務経理部部长 吉田 麻紀
【縦覧に供する場所】	リスクモンスター株式会社大阪支社 （大阪市中央区本町二丁目6番8号） リスクモンスター株式会社名古屋営業所 （名古屋市中村区名駅四丁目26番13号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、連結グループ間の取引時に発生する未実現利益を非支配株主持分に配分する連結決算上の処理が誤っていることが判明しましたので、過去に提出いたしました有価証券報告書等に記載されている連結財務諸表及び四半期連結財務諸表に含まれる誤謬を訂正することといたしました。

これらの訂正により、2020年2月7日に提出いたしました第20期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、八重洲監査法人の四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

<連結業績について>

(2) 財政状態の状況

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

注記事項

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第19期 第3四半期 連結累計期間	第20期 第3四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
(省略)			
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	241,473	295,318	280,818
(省略)			
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	62.48	77.52	72.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	62.37	-	72.53
自己資本比率 (%)	81.8	82.3	81.0

回次	第19期 第3四半期 連結会計期間	第20期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	21.87	23.10

(省略)

(訂正後)

回次	第19期 第3四半期 連結累計期間	第20期 第3四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
(省略)			
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	246,536	301,921	287,765
(省略)			
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	63.79	79.25	74.42
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	63.68	-	74.32
自己資本比率 (%)	82.3	82.9	81.5

回次	第19期 第3四半期 連結会計期間	第20期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	22.36	23.70

(省略)

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

<連結業績について>

(訂正前)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
(省略)					
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	241,473	10.9	295,318	12.4	122.3

(省略)

(利益)

利益率の高いサービスの売上高が増加したこと等により、営業利益は416,982千円(前年同期比110.3%)、
 経常利益は455,610千円(前年同期比118.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は295,318千円(前年同
 期比122.3%)となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
(省略)					
親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	246,536	11.1	301,921	12.7	122.5

(省略)

(利益)

利益率の高いサービスの売上高が増加したこと等により、営業利益は416,982千円(前年同期比110.3%)、
 経常利益は455,610千円(前年同期比118.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は301,921千円(前年同
 期比122.5%)となりました。

(省略)

(2) 財政状態の状況

(訂正前)

(省略)

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ144,774千円増加し、4,685,955千円となりまし
 た。また、自己資本比率は82.3%となりました。

(訂正後)

(省略)

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ144,774千円増加し、4,685,955千円となりまし
 た。また、自己資本比率は82.9%となりました。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	989,085	920,435
利益剰余金	2,058,932	2,288,877
自己株式	104,830	233,742
株主資本合計	4,099,180	4,131,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,170	459,851
為替換算調整勘定	12,186	11,107
その他の包括利益累計額合計	367,357	470,959
非支配株主持分	74,642	83,432
純資産合計	4,541,180	4,685,955
負債純資産合計	5,513,893	5,595,589

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	989,085	920,435
利益剰余金	2,086,471	2,323,019
自己株式	104,830	233,742
株主資本合計	4,126,719	4,165,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,170	459,851
為替換算調整勘定	12,186	11,107
その他の包括利益累計額合計	367,357	470,959
非支配株主持分	47,103	49,290
純資産合計	4,541,180	4,685,955
負債純資産合計	5,513,893	5,595,589

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(省略)		
四半期純利益	248,888	304,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,414	9,089
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,473	295,318

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(省略)		
四半期純利益	248,888	304,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,351	2,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,536	301,921

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(省略)		
四半期包括利益	232,079	407,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,874	398,921
非支配株主に係る四半期包括利益	7,204	8,789

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(省略)		
四半期包括利益	232,079	407,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,937	405,523
非支配株主に係る四半期包括利益	2,141	2,187

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	62円48銭	77円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	241,473	295,318
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	241,473	295,318
普通株式の期中平均株式数(株)	3,864,784	3,809,655
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	62円37銭	-
(省略)		

(省略)

(訂正後)

(省略)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	63円79銭	79円25銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	246,536	301,921
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	246,536	301,921
普通株式の期中平均株式数(株)	3,864,784	3,809,655
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	63円68銭	-
(省略)		

(省略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

2022年5月31日

リスクモンスター株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 滝澤 直樹 印

業務執行社員 公認会計士 山田 英二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリスクモンスター株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リスクモンスター株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して2020年2月7日に四半期レビュー報告書を提出しているが、当該訂正に伴い、訂正後の四半期連結財務諸表に対して本四半期レビュー報告書を訂正する。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。